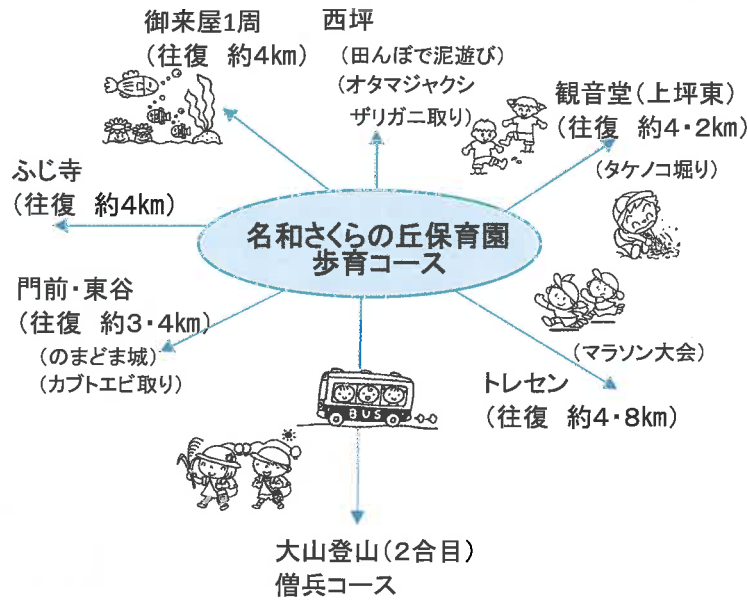


『歩育』で体も頭も元気に！

名和さくらの丘保育園



近年、大人も子どもも歩かない生活が習慣化して、体力の低下が問題になっていきます。先日、「運動に関するアンケート」を実施したところ、帰宅後に戸外で遊ぶ子どもが少なく、保育園での運動活動

が重要だということがわかりました。子どもたちが運動不足になると、体力・運動能力の低下や直立不全・偏平足・脊柱側弯など、身体に異変が起こることも少なくありません。また、足は「第2の心臓」といわれています。歩くことで血液の流れがよくなり、子どもが元気に成長する要素がたくさん含まれています。「歩育」には、歩きながら自然や地域社会に触れ、体験

することができ、子どもたちの豊かな心、生きる力を育てたいという願いを込めています。天気の良い日はできる限り散歩に出かけます。そして月に一度は、縦割りグループで少し遠出をします。異年齢で歩き、小さい子の世話をすることで、思いやりの心を育て、人と人との絆を深めます。また、平坦な道だけでなく、砂利道を歩いたり、斜面を登ったり、側溝を歩いたり、小さな川を跳び超えたりして、自然を学び、地域を学び感性を豊かにします。「歩育」は、子どもの体力を向上させるだけではなく、子どもたちにとって大きな学びの場にもなっています。



▲季節の草花を楽しみながら

まず、映像づくりのしくみ学習からスタート。2回目にロケ地に出かけ取材・構成し、3回目は、絵コンテ（台本）をみんなで頭をかかえながら作りあげ、4・5回目に各ロケ地に出かけて撮影を行いました。

「チームタイムむきばんだ」は、むきばんだ史跡公園で古人の生活体験を『むきばんだと弥生時代へGO!』のタイトルでCMに。「牧場チーム」は、ファーム山下（報国

で牛の世話体験をCMにした『初！牛の世話体験ヘレッツゴー!』を。「チームM*A*TI」は『御来屋・名和駅周辺の魅力発見旅』のタイトルどおり、駅の様子やその周辺を映像にしました。それぞれのチームが自分たちの目線で感じたこと、体験したことを大山町のPR映像として完成させたCMは、8月28日（日）19時30分から、名和公民館視聴覚室で開催する上映会で発表します。子どもたちの力作をご覧ください。

3年目となるこの講座は、参加児童13名が3チームに分かれて『ひと夏の冒険』をメインテーマに、自分たちで大山町のいいところを探して、取材・構成・撮影を行い5分間のCMを作ります。

子どもカルチャー教室の映像制作体験『大山町いいとこ探しCMづくり大作戦!』をよなご映像フェスティバル実行委員会の皆さんの指導のもと、7月2日から5回シリーズで行いました。

大山町いいとこ探し CMづくり大作戦!



▲命の尊さをCMにのせて

名和公民館